

【取引の概要】

米先物取引の試験上場に関する シーズンレポート



O#JRE:		東証 JPY		試験上場中			
限月		安値	出来高	SC0 出来高	輸入値	輸入日付	
DEC1		14320	10			12-01	
JAN2		14600	18			12-01	
FEB2	▲14620	14660	15			12-01	
MAR2	▲14630	14670	18			12-01	
APR2	▲14670	14580	65			12-01	
MAY2	14610	14680	153			12-01	

O#JWR:		関西 コメ		関西 JPY		出来高
限月	DEC1	JAN2	FEB2	APR2	MAY2	
ハナ枚数						
前日終値	15140	15160	15280	15310	15350	15380
前場1節	15140	15160	15280	15310	15350	15380
前場2節	15140	15160	15280	15310	15350	15380
前場3節	15140	15160	15390	15420	15460	15470
後場1節	15140	15160	15450	15480		
後場2節	15140	15160	15440	15470		
後場3節	15140	15160	15440	15430		
前日比	0	0	+160	+120		
出来高	24	56	108	78		



平成 23 年 1 2 月

農林水産省

【本資料の目的】

東京穀物商品取引所（東穀）及び関西商品取引所（関西取）から申請のあった米先物取引の試験上場が、平成23年7月1日に認可され、同年8月8日から、米先物取引の試験上場が開始されたところです。

「米先物取引の試験上場に関するシーズンレポート」は、米先物取引の試験上場について、その価格動向、取引量の動向、取引参加者の状況、その他関連する情報を収集・整理し、これを原則として4半期ごとに公表することによって、米先物取引の試験上場の実施状況について各種情報の提供を行うことを目的としています。

※ 認可されている試験上場の期間は、平成23年8月8日から2年間です。

【利用上の注意】

- 1 「米先物取引の試験上場に関するシーズンレポート」は、特に記載がない限り、東京穀物商品取引所及び関西商品取引所における日々の取引データから得られた情報をもとに農林水産省において作成したものです。
- 2 本レポートは、今後、必要に応じて追加・削除など内容を変更することがあり得ます。
- 3 本レポートは、情報提供を目的としたもので、商品先物取引その他の取引の推奨、助言等を目的としたものではありません。
- 4 本レポートの作成に当たり情報の正確性等について細心の注意を払っておりますが、その正確性及び完全性について保証するものではなく、また、将来の市場環境の変動、運用成果等を約束又は予想するものではありません。本レポートに記載された情報の使用又は使用不能により生じた結果については、当省は一切の責任を負いかねます。
- 5 本レポートの引用等を行う場合は、出所を明記してください。

※ 本レポートの主な用語解説は、巻末に記載。

目次

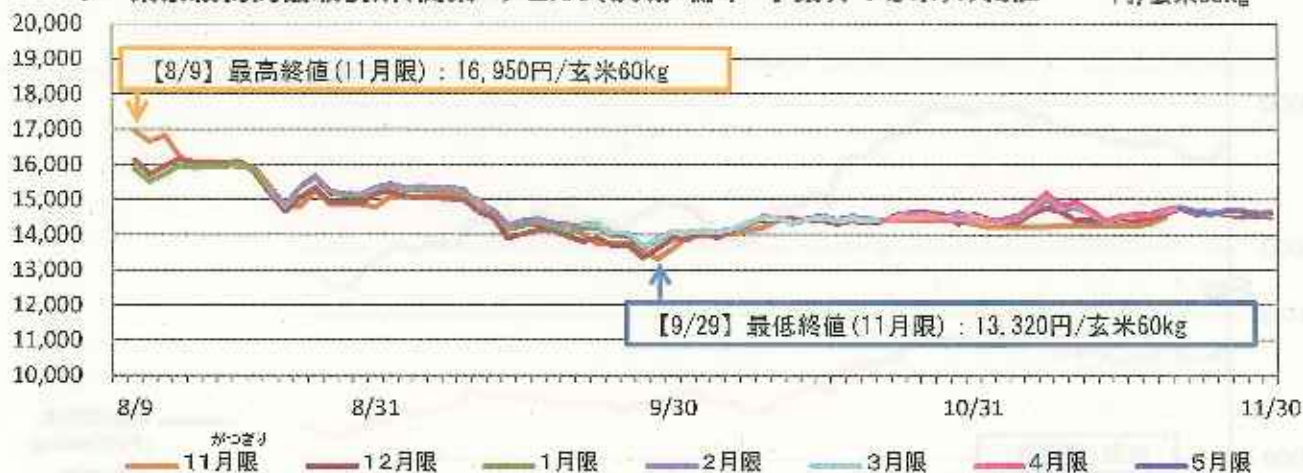
1. 米先物取引の試験上場の現状	
(1) 取引価格の動向	
① 取引価格の推移	2
② 日々の始値、高値、安値、終値の推移	4
③ 各限月別の発会値段、最高値段、最低値段、11月30日現在値段	5
④ 値幅制限等の発動状況	6
(2) 取引量の動向	
① 出来高（市場における注文成立数）の推移	7
② 東京穀物商品取引所の主要商品と米穀の出来高の推移	8
③ 限月別の出来高状況（取引開始から平成23年11月30日までの累積値）	10
④ 他の主要商品と米穀の出来高合計の比較	11
⑤ 海外からの取引参加の状況（東京穀物商品取引所）	13
(3) 取組高、取引参加者の動向	
① 取組高の推移（東穀、関西取合計）	14
② 取引所別の取組高の推移	14
③ 東京穀物商品取引所の主要商品と米穀の取組高の推移	15
④ 限月別の取組高の状況	15
⑤ 取引参加者の構成（当業者・非当業者）	16
⑥ 建玉報告対象者の割合	18
(4) 現物受渡しの状況	20
2. 関連情報	
(1) 米の取引価格及び数量	
① 相対取引価格・数量	22
② 小売物価統計による推移	25
(2) 平成23年産水稻の作柄概況	
① 全国・都道府県別作況指数	26
② 平成23年産水陸稲の収穫量（全国農業地域別）	26
③ 水陸稲（子実用）の年次別推移（全国）	27
(3) 農産物以外の上場商品及び金融商品等の動向	
① 工業品の動向（東京工業品取引所）	28
② 株価の動向（日経平均株価（225種））	30
③ 為替の動向（対米ドル、T T S）	31
3. データ集	
(1) 東京穀物商品取引所の取引価格データ（始値、高値、安値、終値、帳入値段）	34
(2) 関西商品取引所の取引価格データ（始値、高値、安値、終値、帳入値段）	37

1. 米先物取引の試験上場の現状

(1) 取引価格の動向

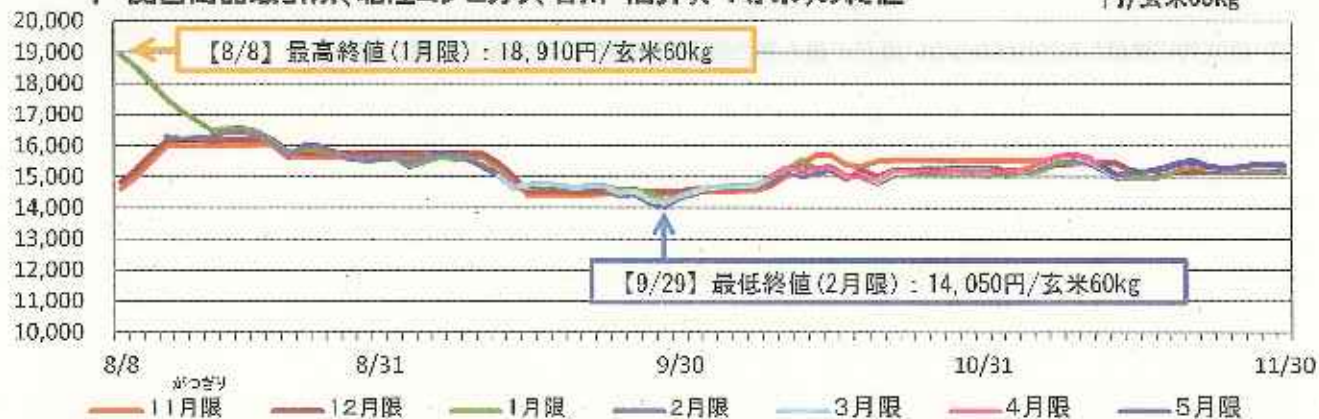
① 取引価格の推移

ア 東京穀物商品取引所(関東コシヒカリ(茨城・栃木・千葉)、1等米)の終値 円/玄米60kg



	8月8日	8月9日	8月31日	9月30日	10月31日	11月30日	最高(月日)	最低(月日)
11月限	-	16,950	14,780	13,610	14,310	/	16,950 (8.9)	13,320 (9.29)
12月限	-	16,120	15,180	13,900	14,590	14,500	16,150 (8.12)	13,340 (9.28)
1月限	-	15,870	15,300	14,060	14,470	14,580	16,000 (8.18)	13,610 (9.28)
2月限	/	/	15,340	14,100	14,490	14,600	15,660 (8.25)	13,670 (9.28)
3月限	/	/	/	14,100	14,500	14,600	15,160 (11.8)	13,690 (9.28)
4月限	/	/	/	/	14,450	14,640	15,180 (11.8)	14,380 (11.2)
5月限	/	/	/	/	/	14,610	14,760 (11.21)	14,580 (11.29)

イ 関西商品取引所(北陸コシヒカリ(石川・福井)、1等米)の終値 円/玄米60kg



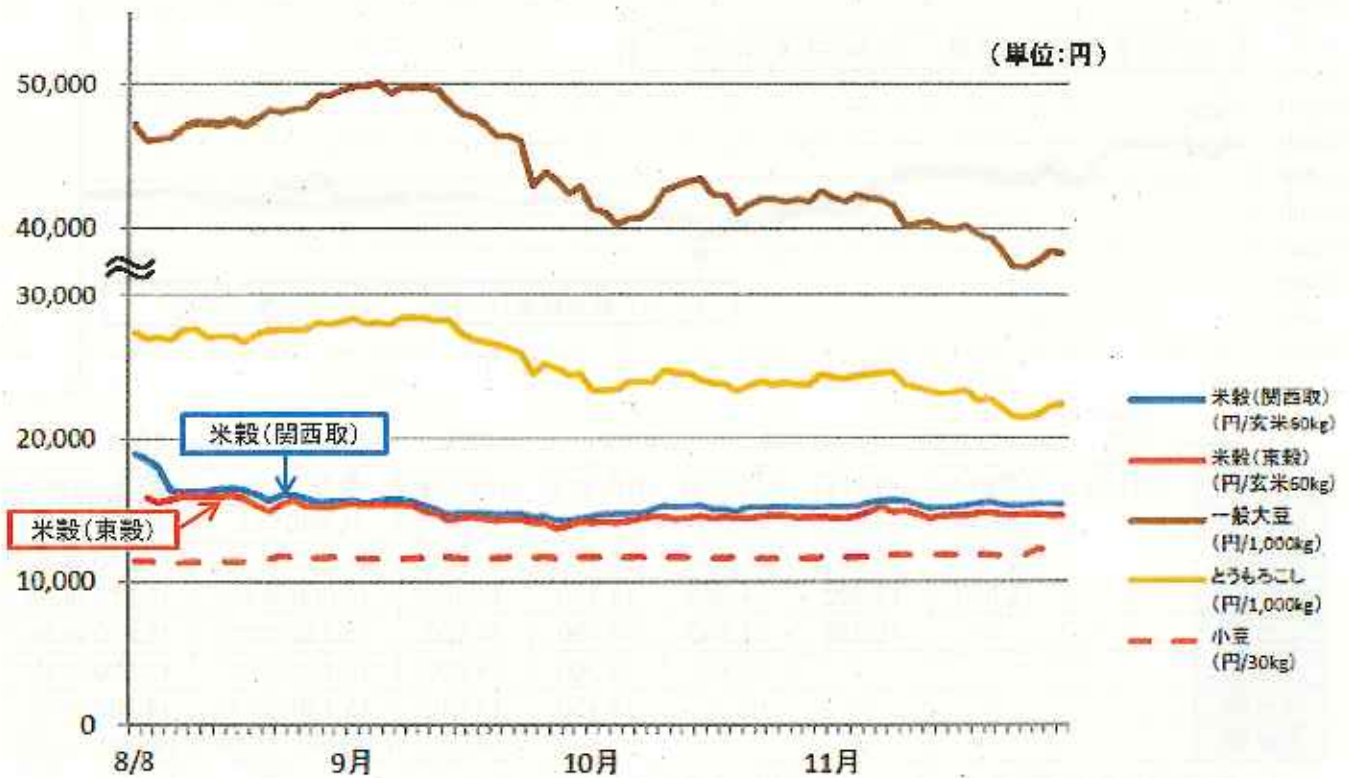
	8月8日	8月9日	8月31日	9月30日	10月31日	11月30日	最高(月日)	最低(月日)
11月限	14,620	15,020	15,620	14,450	15,540	/	16,020 (8.17-19.22)	14,410 (9.14-16.20-21)
12月限	14,840	15,240	15,740	14,540	15,200	15,140	16,200 (8.12.15)	14,500 (9.21)
1月限	18,910	18,510	15,550	14,370	15,110	15,160	18,910 (8.8)	14,230 (9.29)
2月限	/	/	15,580	14,340	15,250	15,280	16,440 (8.18)	14,050 (9.29)
3月限	/	/	/	14,380	15,240	15,310	15,650 (11.8-9)	14,170 (9.29)
4月限	/	/	/	/	15,170	15,350	15,710 (11.9)	14,890 (10.20)
5月限	/	/	/	/	/	15,380	15,540 (11.21)	15,060 (11.14)

注1：価格は、取引開始から平成23年11月30日までの終値。ただし、東京穀物商品取引所の場合、終値又は取引終了までの一定時間内に成立した取引価格により一定の方法で算出した価格（概入値）。

注2：取引所が指定する倉庫の置き場渡し価格（包装代込み、消費税抜き。以下、米穀の先物取引の価格について同じ。）。

注3：月限とは、売買契約を決済しなければならない期限の月。

(参考) 東京穀物商品取引所の主要商品と米穀の値動き(期先限月の終値)

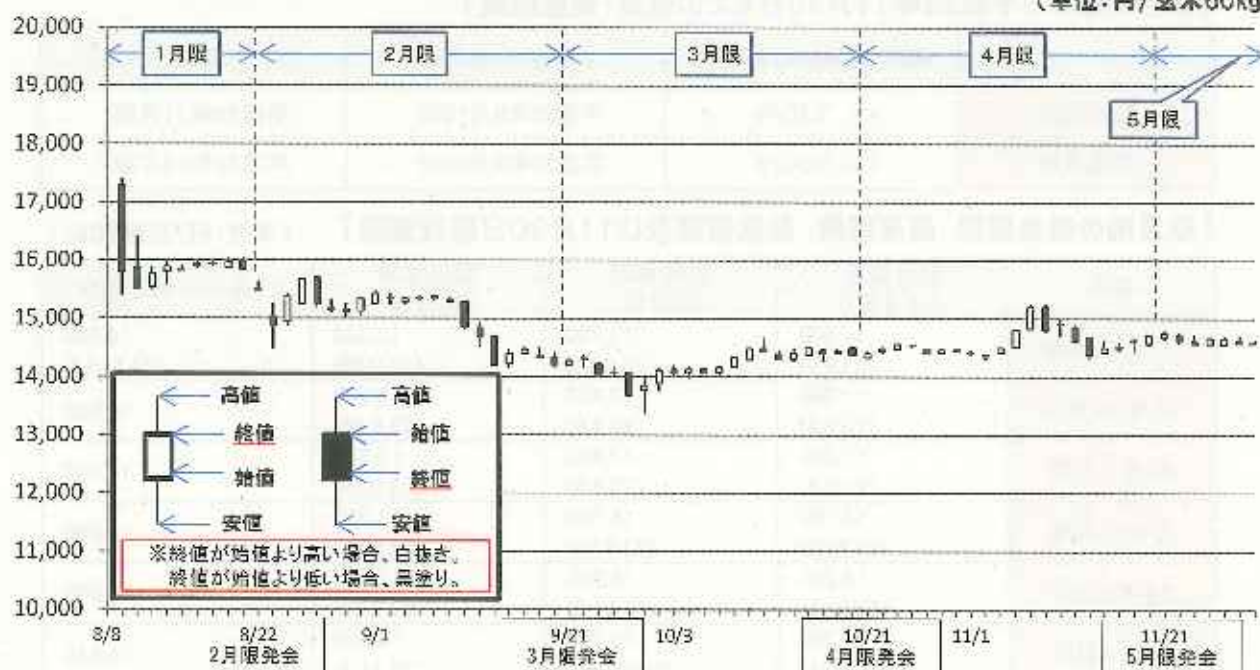


注:最終的に決済しなければならない期日が最も先の限月(期先限月)の終値又は帳入値。

② 日々の始値、高値、安値、終値の推移

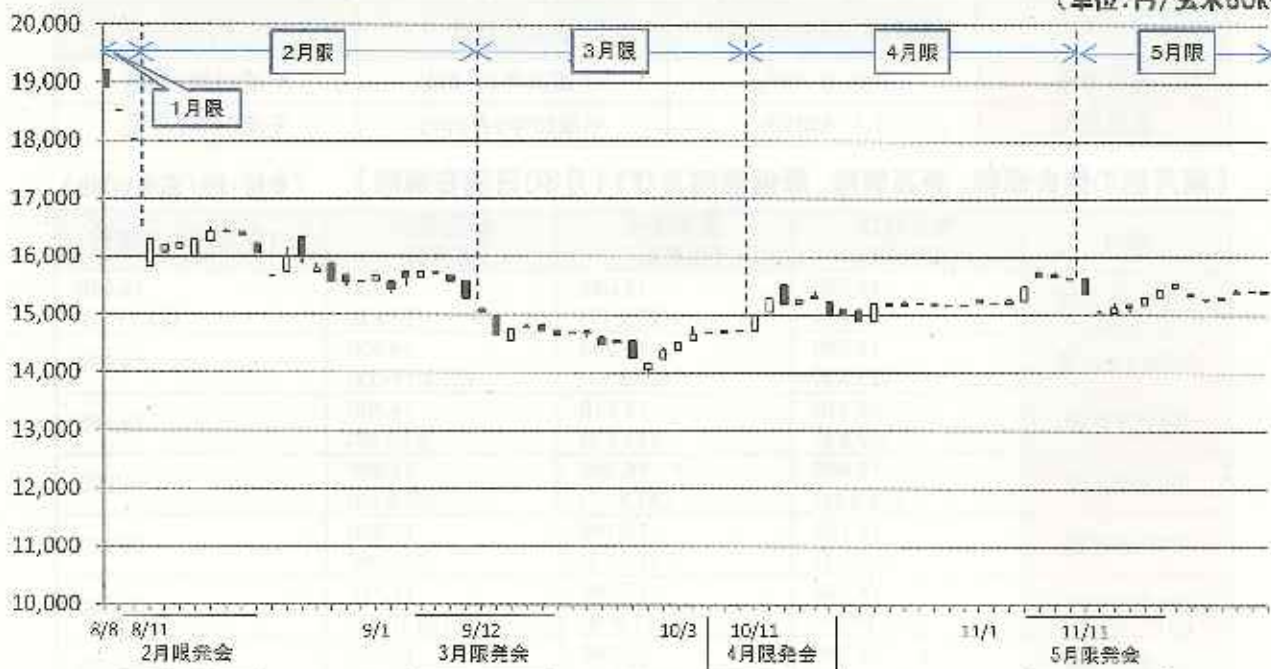
ア 東京穀物商品取引所(関東コシヒカリ(茨城・栃木・千葉)、1等米、期先限月)

(単位:円/玄米60kg)



イ 関西商品取引所(北陸コシヒカリ(石川・福井)、1等米、期先限月)

(単位:円/玄米60kg)



注:最終的に決済しなければならない期日が最も先の限月(期先限月)の始値(東穀の場合、1日の計算区域が、前営業日の夜間取引+当日の日中取引であり、夜間取引・日中取引を過ぎて最初に成立した値段。関西取の場合、前場1節において成立した値段。)、高値、安値、終値(東京穀物商品取引所の場合、終値又は振入値)の推移を表している(新たな期先限月の取引開始後は当該限月の値段に切り替え。)

③ 各限月別の発会値段、最高値段、最低値段、11月30日現在値段

ア 東京穀物商品取引所(関東コシヒカリ(茨城・栃木・千葉)、1等米)

【取引開始から平成23年11月30日までの最高・最低値段】

	値段(玄米60kgあたり)	成立年月日	限月
最高値段	17,730円	平成23年8月10日	平成23年11月限
最低値段	13,200円	平成23年9月29日	平成23年12月限

【限月別の発会値段、最高値段、最低値段及び11月30日現在値段】 (単位:円/玄米60kg)

限月	発会値段 (年月日)	最高値段 (年月日)	最低値段 (年月日)	11月30日現在値段
23年11月限	17,400 (23.8.9)	17,730 (23.8.10)	13,320 (23.9.29)	14,500 (23.11.18)
23年12月限	17,400 (23.8.9)	17,400 (23.8.9)	13,200 (23.9.29)	14,500
24年1月限	17,280 (23.8.9)	17,400 (23.8.9)	13,330 (23.9.29)	14,580
24年2月限	15,500 (23.8.22)	15,700 (23.8.26)	13,350 (23.9.29)	14,600
24年3月限	14,200 (23.9.21)	15,240 (23.11.9)	13,360 (23.9.29)	14,600
24年4月限	14,330 (23.10.21)	15,250 (23.11.8-9)	14,310 (23.11.2)	14,640
24年5月限	14,700 (23.11.21)	14,790 (23.11.21)	14,550 (23.11.28)	14,610

イ 関西商品取引所(北陸コシヒカリ(石川・福井)、1等米)

【取引開始から平成23年11月30日までの最高・最低値段】

	値段(玄米60kgあたり)	成立年月日	限月
最高値段	19,210円	平成23年8月8日	平成24年1月限
最低値段	13,860円	平成23年9月29日	平成24年2月限

【限月別の発会値段、最高値段、最低値段及び11月30日現在値段】 (単位:円/玄米60kg)

限月	発会値段 (年月日)	最高値段 (年月日)	最低値段 (年月日)	11月30日現在値段
23年11月限	14,320 (23.8.8)	16,060 (23.8.17)	14,320 (23.8.8)	15,540 (23.11.10)
23年12月限	14,540 (23.8.8)	16,240 (23.8.11)	14,500 (23.9.21-22)	15,140
24年1月限	19,210 (23.8.8)	19,210 (23.8.8)	14,200 (23.9.29)	15,160
24年2月限	15,840 (23.8.11)	16,500 (23.8.17)	13,860 (23.9.29)	15,280
24年3月限	15,100 (23.9.12)	15,740 (23.11.8)	13,960 (23.9.29)	15,310
24年4月限	14,740 (23.10.11)	15,760 (23.11.8-9)	14,740 (23.10.11)	15,350
24年5月限	15,640 (23.11.11)	15,640 (23.11.11)	15,050 (23.11.15)	15,380

注:発会値段とは、発会日(東京穀物商品取引所は毎月21日、関西商品取引所は11日(休業日の場合は繰り下げ。))において取引が成立した最初の値段である。また、最高値段及び最低値段は取引開始から平成23年11月30日までに成立した最高及び最低の値段であり、P2に記載した終値の最高及び最低とは異なる。

また、11月30日現在の値段は、11月限については納会日(東京穀物商品取引所は毎月20日、関西商品取引所は毎月10日(休業日の場合は繰り上げ。))の終値(ただし、東京穀物商品取引所の場合は、終値又は帳入値。)

④ 値幅制限等の発動状況

ア 東京穀物商品取引所(サーキットブレーカー(CB))

(単位:回数)

日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
8月	/	/	/	/	/	/	/	-	19	1	1	2			1	0	1	0	1			31	4	4	1	1			1	0	0
9月	0	0			0	0	0	0	1			1	1	0	0	0				0	0	1				1	1	1	1	0	/
10月			1	0	0	0	0				0	0	1	0			0	0	0	0	0			0	0	0	0	0			0
11月	0	0		0			1	1	1	0	0			1	1	0	0	0			0	0		0	0			0	0	0	/

イ 関西商品取引所(値幅制限)

(単位:限月数)

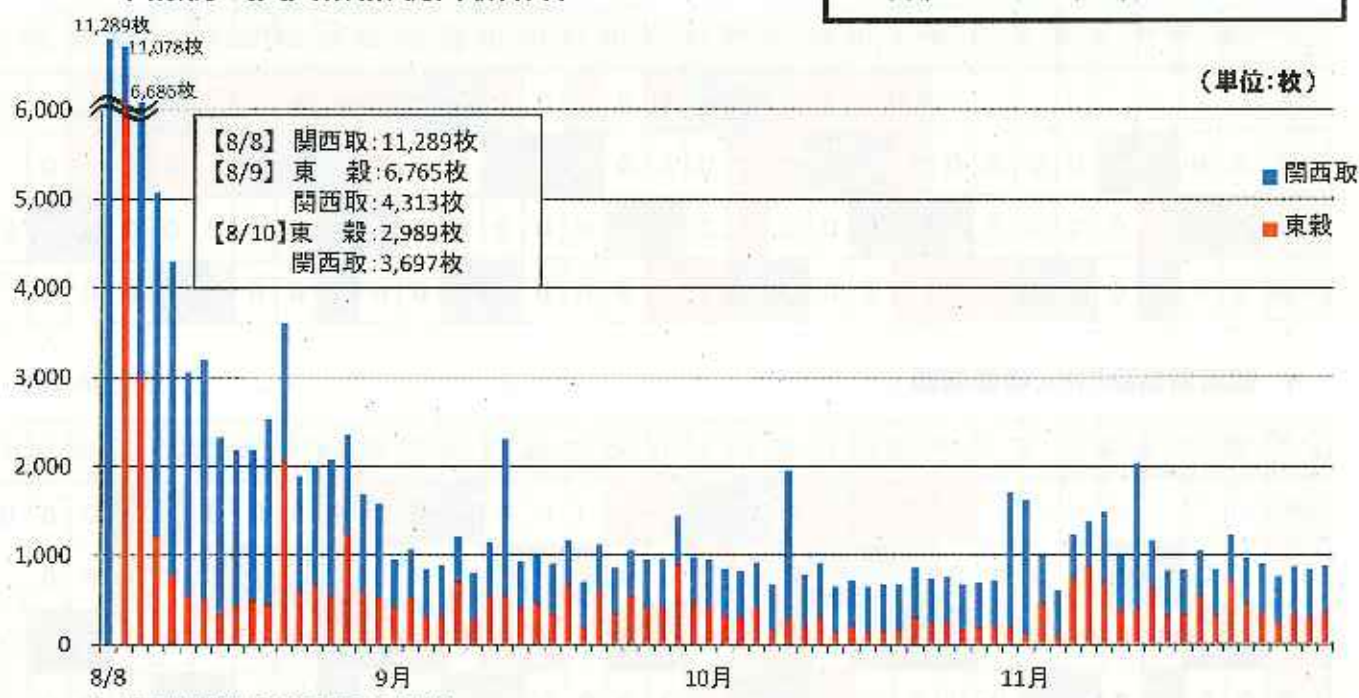
日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
8月	/	/	/	/	/	/	/	3	3	3	1	1			1	1	0	0	0			2	4	0	0	0			0	0	0
9月	0	0			0	0	0	0	1			2	5	2	0	0				0	0	0				1	0	1	0	0	/
10月			0	0	0	0	0				0	5	1	0			0	1	1	0	2			0	0	0	0	0			0
11月	0	0		0			0	0	0	0	1			1	0	0	0	0			0	0		0	0			0	0	0	/

- 注1:東京穀物商品取引所は、1日あたりのサーキットブレーカー(CB)発動回数(取引が成立しなかった初日を除く)。関西商品取引所は、その日の終値が値幅制限に張り付いた限月数(休業日は黒塗り)。
- 注2:東京穀物商品取引所のCBとは、値動きが一定幅に達した場合に、取引を一時停止し、市場の加熱を抑える仕組みであり、±300円/60kgで発動される。なお、平成23年11月30日現在では、東京穀物商品取引所の1日の値幅は、最大で±1,000円/60kg以内(通常、±600円/60kg。その後、順次±800円/60kg、±1,000円/60kgに拡大。)
- 注3:関西商品取引所の値幅制限とは、値動きが一定幅に達した場合に、その上限を超える又は下限を下回る価格で取引を成立させない仕組み。平成23年11月30日現在では、関西商品取引所の1日の値幅は、最大で±500円/60kg以内(通常、±300円/60kg。その後、順次±400円/60kg、±500円/60kgに拡大。)
- 注4:両取引所ともにCB・値幅制限の幅、適用・解除時期は商品ごとに異なり、CB・値幅制限の幅については、商品の値動き等を勘案し、取引所が変更することがあり得る。また、異常な価格変動が生じた場合等は、商品先物取引法第118条第2号の規定に基づく主務大臣の命令により取引所が制限幅を変更。

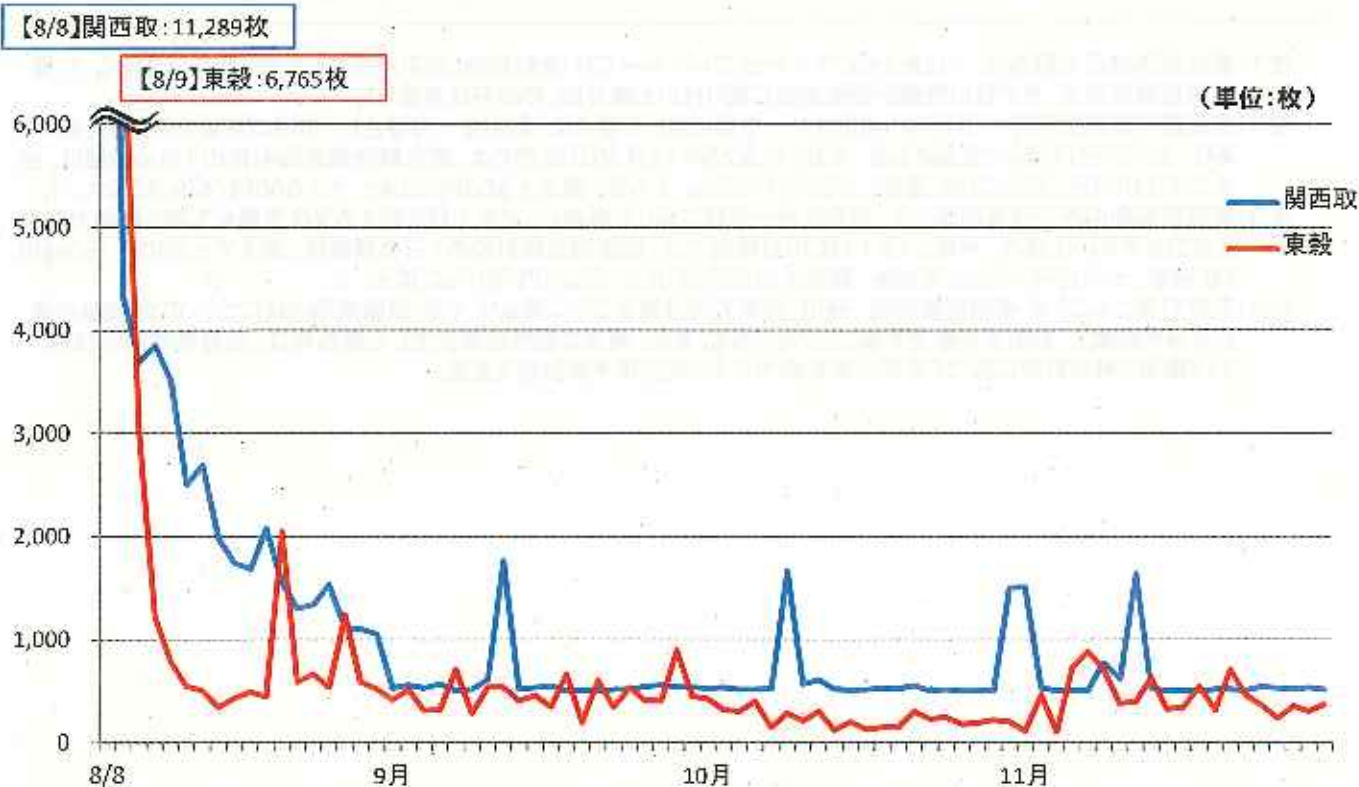
(2) 取引量の動向

① 出来高(市場における注文成立数)の推移 ア 出来高の推移(東穀、関西取合計)

枚:先物市場での取引単位であり、米穀の場合、東穀は6玄米トン(100俵)で1枚、関西取は3玄米トン(50俵)で1枚。



イ 取引所別の出来高の推移

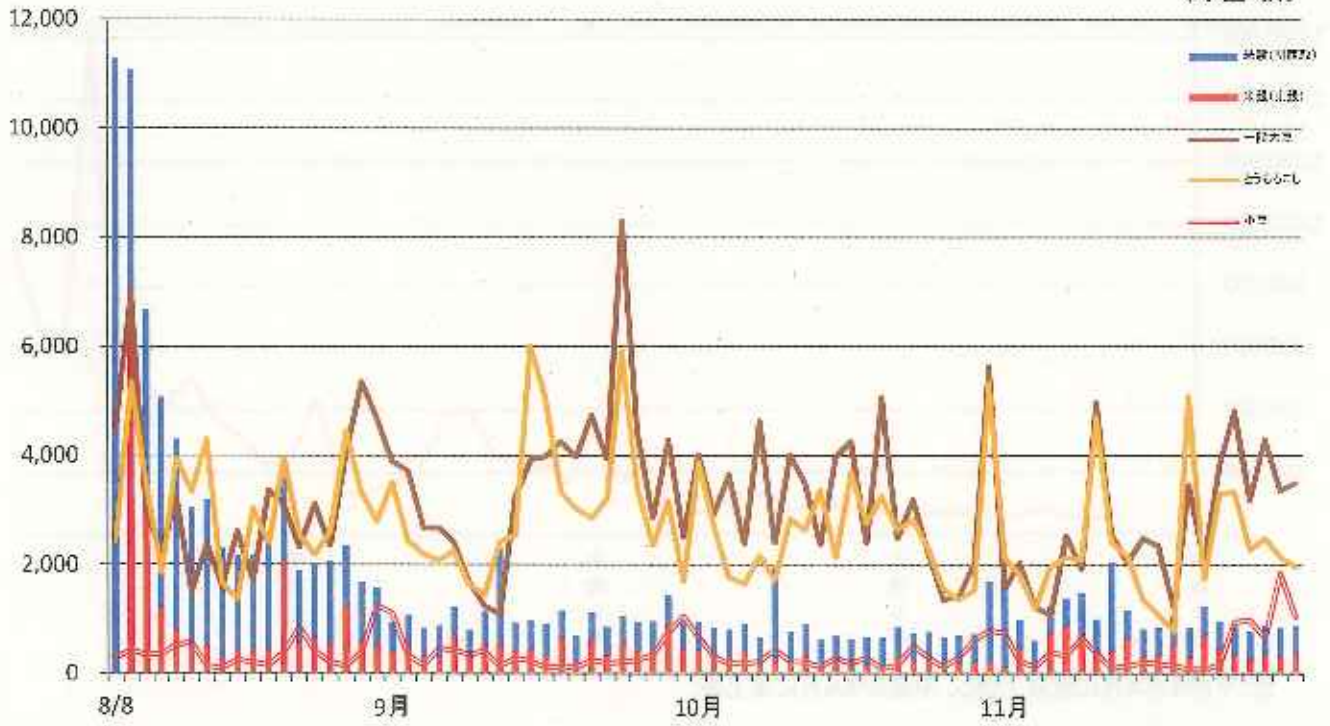


(参考)

標準品: 東京穀物商品取引所は、茨城、栃木及び千葉のコシヒカリを標準品として取引を実施。関西商品取引所は、石川及び福井のコシヒカリを標準品として取引を実施(東京穀物商品取引所・関西商品取引所ともに玄米1等合格品。)
 限月: 両取引所ともに、受渡月の異なる6限月(例えば、12月に決済期限が到来するものを12月限といい、1の限月と数える。)の米穀を取引。最長6ヶ月先(平成23年11月30日現在では、12月限、1月限、2月限、3月限、4月限、5月限が上場。)の限月の米穀を取引。

② 東京穀物商品取引所の主要商品と米穀の出来高の推移

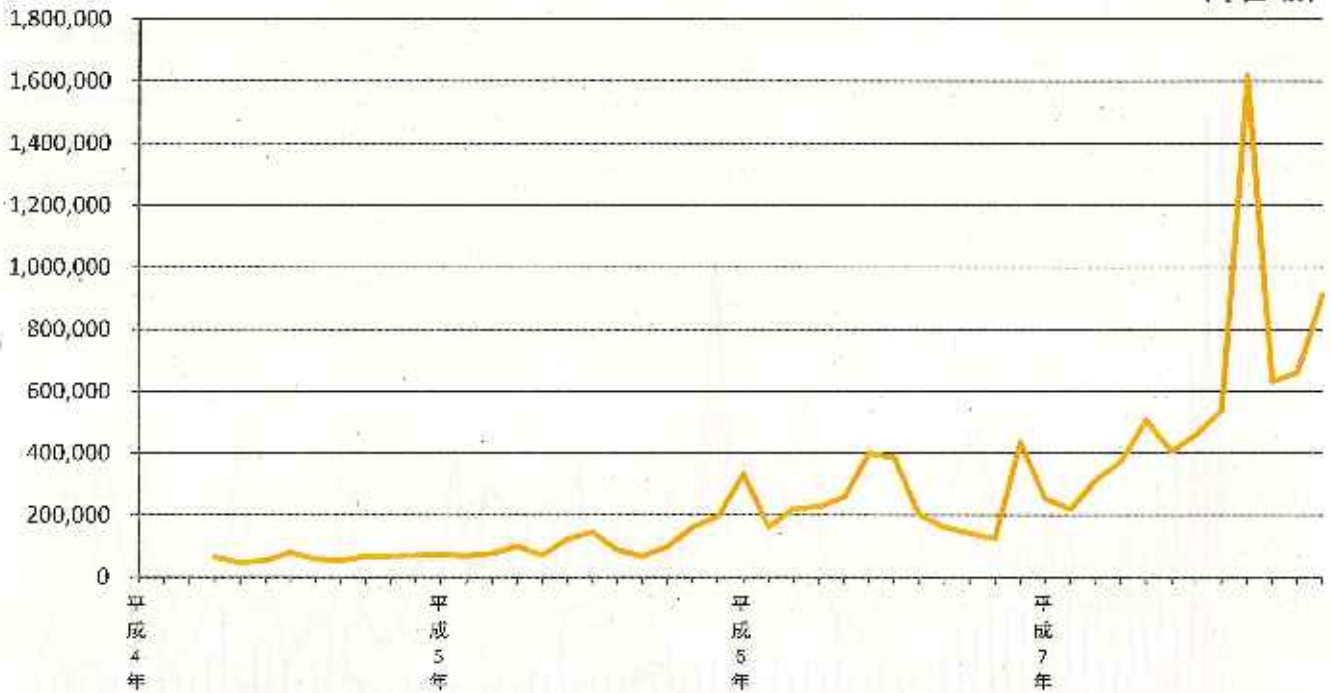
(単位:枚)



(参考) 過去の新規上場後の出来高推移の例

ア どうもろこし(東京穀物商品取引所)

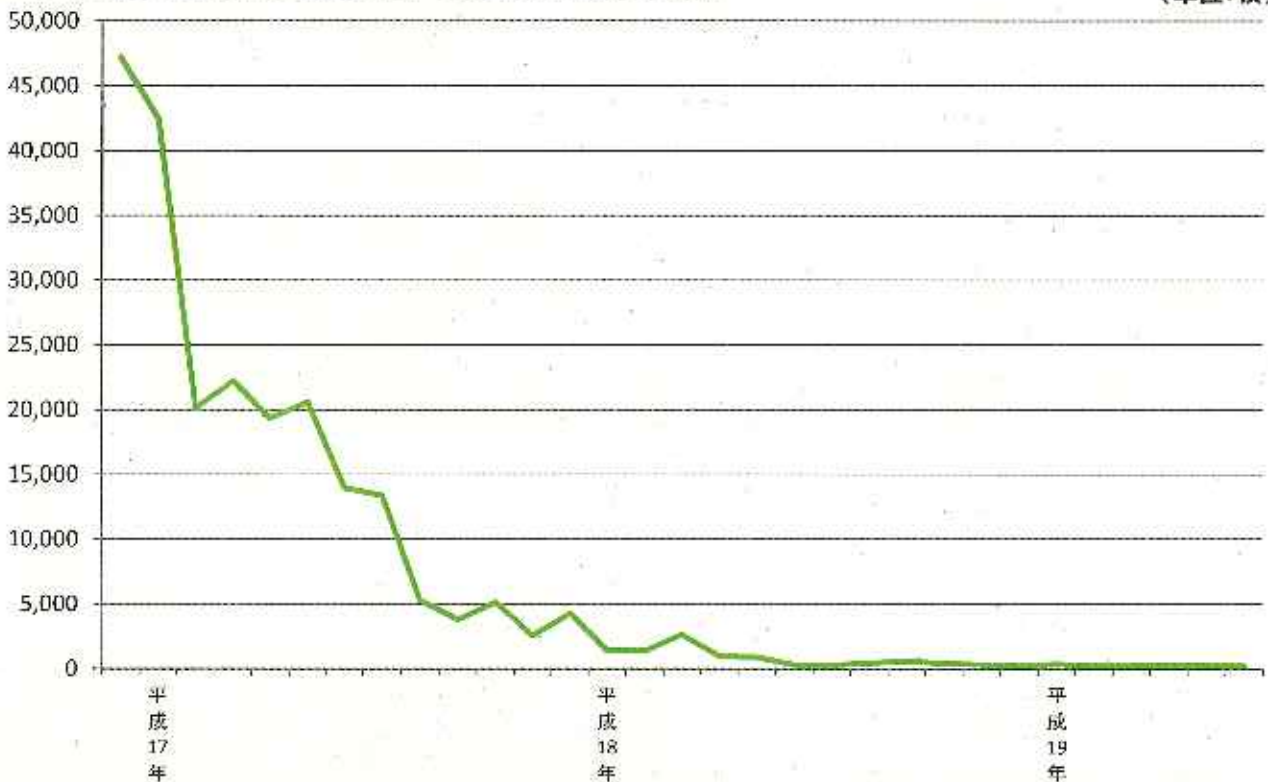
(単位:枚)



注:平成4年4月に試験上場し、平成6年4月に本上場。

イ 野菜指数(横浜商品取引所・東京穀物商品取引所)

(単位:枚)



注:平成16年12月に横浜商品取引所で試験上場し、平成18年4月に東京穀物商品取引所に移管。

③ 限月別の出来高状況(取引開始から平成23年11月30日までの累積値)

ア 東京穀物商品取引所

(単位:枚)



イ 関西商品取引所

(単位:枚)



注1: 12~5月限については、平成23年11月30日現在、取引中であるため、各限月の取引開始日から平成23年11月30日までの出来高の累積値を表しており、各限月で実際に取引された日数が異なる。

注2: 11月限については、すでに取引が終了しているため、取引開始日から11月限納会日(東京穀物商品取引所は11月18日、関西商品取引所は11月10日)までの出来高の累積値。

④ 他の主要商品と米穀の出来高合計の比較

ア 東京穀物商品取引所

【8月8日～8月31日(18営業日)】

(単位:枚)

	出来高合計	1日平均	最高出来高(日)	最低出来高(日)
米穀	20,692	1,150	6,765	0
とうもろこし	55,098	3,061	5,349	1,384
一般大豆	58,155	3,231	7,006	1,500
小豆	7,077	393	1,259	96
アラビカコーヒー	989	55	150	21
粗糖	4,206	234	490	69

【9月1日～9月30日(20営業日)】

(単位:枚)

	出来高合計	1日平均	最高出来高(日)	最低出来高(日)
米穀	9,350	468	899	197
とうもろこし	60,518	3,026	6,015	1,449
一般大豆	69,854	3,493	8,304	1,098
小豆	7,307	365	1,109	107
アラビカコーヒー	900	45	100	11
粗糖	3,310	166	457	54

【10月1日～10月31日(20営業日)】

(単位:枚)

	出来高合計	1日平均	最高出来高(日)	最低出来高(日)
米穀	4,712	236	425	123
とうもろこし	52,046	2,602	5,331	1,358
一般大豆	63,861	3,193	5,630	1,359
小豆	6,187	309	796	90
アラビカコーヒー	592	30	87	11
粗糖	3,005	150	935	18

【11月1日～11月30日(20営業日)】

(単位:枚)

	出来高合計	1日平均	最高出来高(日)	最低出来高(日)
米穀	8,738	437	881	109
とうもろこし	46,051	2,303	5,075	780
一般大豆	54,443	2,722	4,972	1,082
小豆	9,344	467	1,839	73
アラビカコーヒー	567	28	53	0
粗糖	4,877	244	1,584	4

注:出来高合計、1日平均(小数点以下は四捨五入)、最高、最低出来高は、取引開始から平成23年11月30日までの出来高の状況を1か月間ごとに取りまとめたものである(8月については、取引が開始された8日から31日まで)。最高又は最低出来高は、1日の出来高のうち最高又は最低のもの。

イ 関西商品取引所

【8月8日～8月31日(18営業日)】

(単位:枚)

	出来高合計	1日平均	最高出来高(日)	最低出来高(日)
米穀	48,358	2,687	11,289	1,054
とうもろこし	3,884	216	304	201
米国産大豆	215	12	12	11
小豆	500	28	196	16
粗糖	216	12	12	12
冷凍えび	215	12	12	11
コーヒー指数	180	10	10	10
国際穀物等指数	216	12	12	12

【9月1日～9月30日(20営業日)】

(単位:枚)

	出来高合計	1日平均	最高出来高(日)	最低出来高(日)
米穀	11,908	595	1,767	500
とうもろこし	4,050	203	207	184
米国産大豆	240	12	12	12
小豆	714	36	196	16
粗糖	239	12	12	11
冷凍えび	239	12	12	11
コーヒー指数	173	9	10	8
国際穀物等指数	239	12	12	11

【10月1日～10月31日(20営業日)】

(単位:枚)

	出来高合計	1日平均	最高出来高(日)	最低出来高(日)
米穀	12,638	632	1,668	500
とうもろこし	4,168	208	284	185
米国産大豆	239	12	12	11
小豆	1,070	54	374	16
粗糖	240	12	12	12
冷凍えび	239	12	12	11
コーヒー指数	160	8	8	8
国際穀物等指数	240	12	12	12

【11月1日～11月30日(20営業日)】

(単位:枚)

	出来高合計	1日平均	最高出来高(日)	最低出来高(日)
米穀	12,795	640	1,637	502
とうもろこし	4,061	203	204	185
米国産大豆	240	12	12	12
小豆	536	27	196	16
粗糖	239	12	12	11
冷凍えび	239	12	12	11
コーヒー指数	133	7	8	6
国際穀物等指数	239	12	12	11

注:出来高合計、1日平均(小数点以下は四捨五入)、最高、最低出来高は、取引開始から平成23年11月30日までの出来高の状況を1か月間ごとに取りまとめたものである(8月については、取引が開始された8日から31日まで)。最高又は最低出来高は、1日の出来高のうち最高又は最低のもの。

⑤ 海外からの取引参加の状況(東京穀物商品取引所)

(単位:枚)

	8月		9月		10月	
	売	買	売	買	売	買
米国	86	39	51	44	0	37
シンガポール	128	128	0	0	0	0
合 計	214	167	51	44	0	37

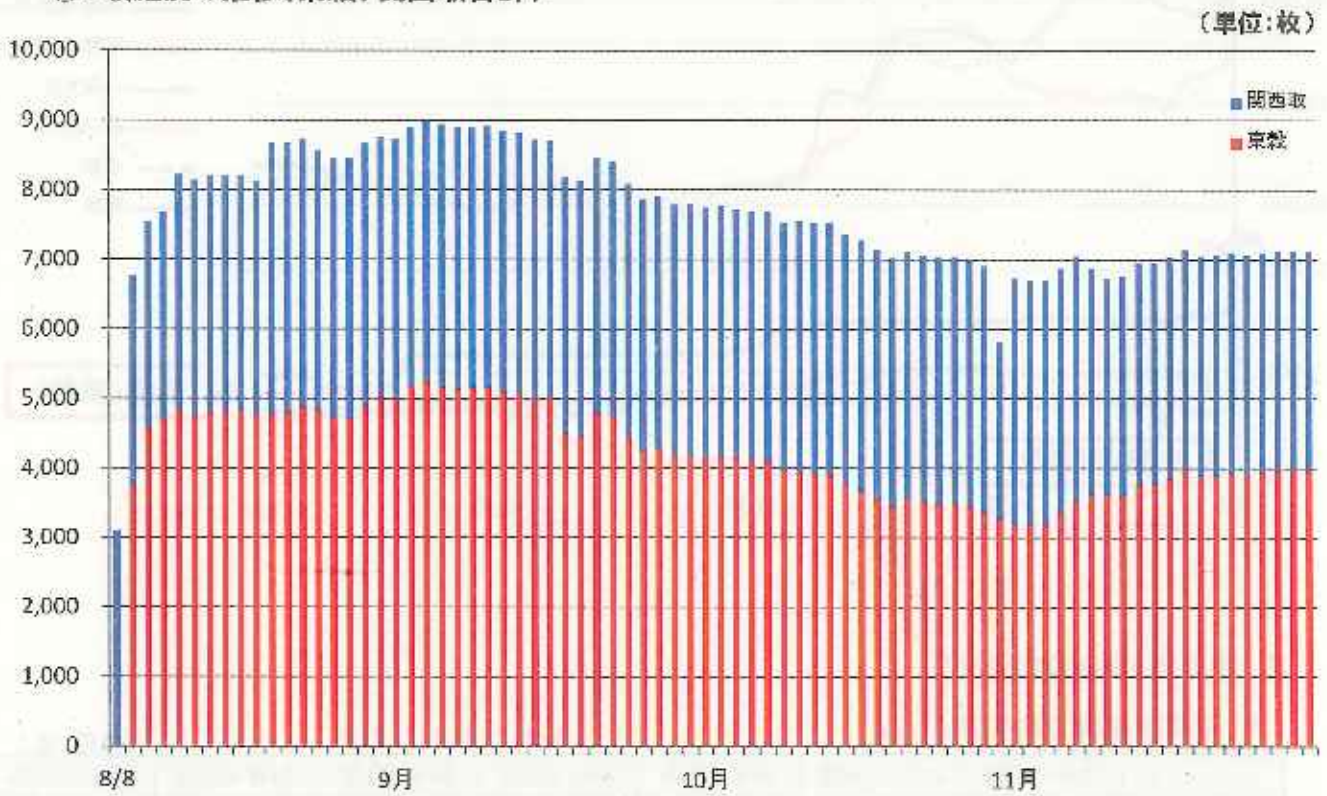
注1:東京穀物商品取引所において取引を行っている海外の商品先物取引業者(外国において商品先物取引法第190条第1項の規定による許可に相当する許可を受けている者又はこれに準ずる者)のうち、同所の定める市場管理細則に基づき、建玉制限の特例措置の適用を受けている者の出来高である。

注2:関西商品取引所においては、平成23年11月30日現在、米穀について同所の定める市場管理要綱に基づく建玉制限の特例措置の適用を受けている海外の商品先物取引業者に係る取引実績はない。

(3) 取組高、取引参加者の動向

取組高: 商品市場で成立した注文のうち、まだ、決済されず、市場に残っている売買契約数量(売り・買いセットで1枚とカウント)。

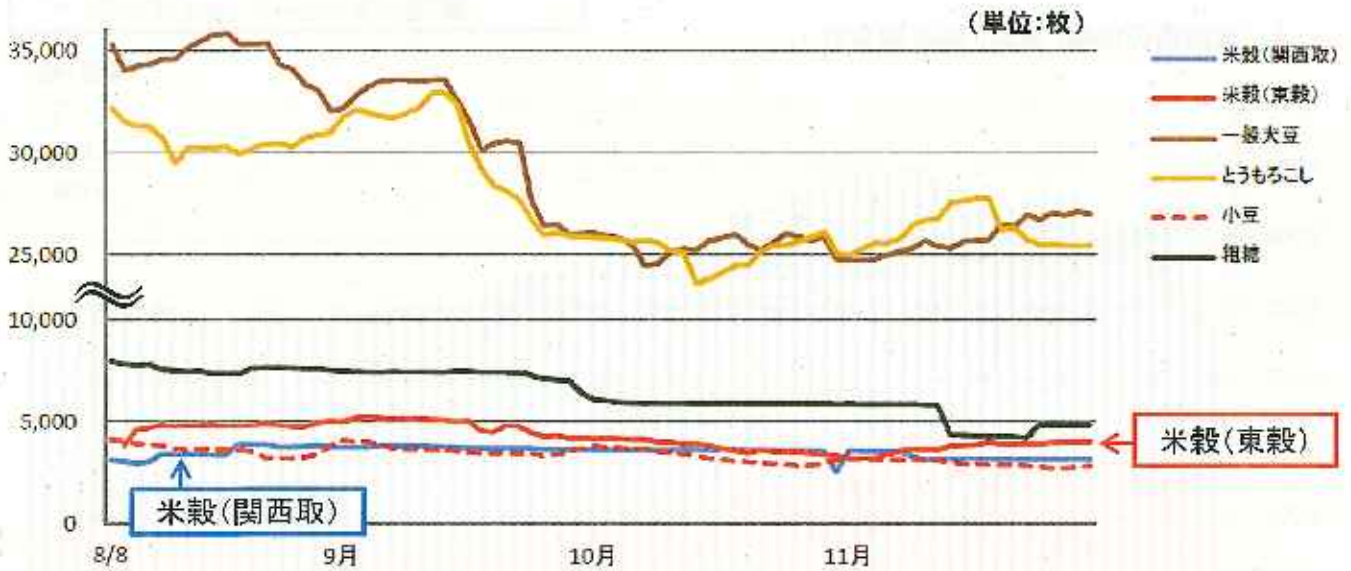
① 取組高の推移(東穀、関西取合計)



② 取引所別の取組高の推移



③ 東京穀物商品取引所の主要商品と米穀の取組高の推移



④ 限月別の取組高の状況

ア 東京穀物商品取引所

(単位:枚)

	23年11月限	23年12月限	24年1月限	24年2月限	24年3月限	24年4月限	24年5月限
8月31日現在	78	792	2,358	1,797	-	-	-
9月30日現在	76	515	1,298	1,340	956	-	-
10月31日現在	51	393	904	582	845	503	-
11月30日現在	-	348	807	457	544	1,321	500

イ 関西商品取引所

(単位:枚)

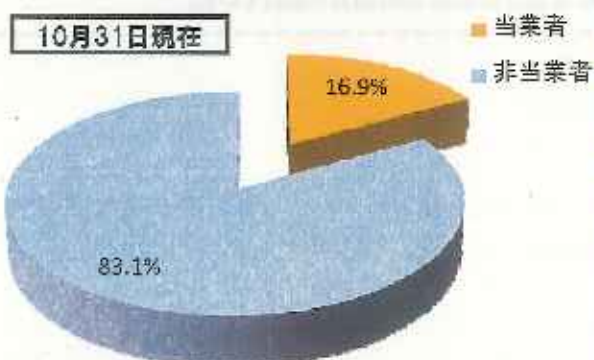
	23年11月限	23年12月限	24年1月限	24年2月限	24年3月限	24年4月限	24年5月限
8月31日現在	421	502	806	2,009	-	-	-
9月30日現在	381	502	729	1,378	630	-	-
10月31日現在	385	500	682	724	139	110	-
11月30日現在	-	499	632	695	86	615	615

注:各限月ごとの各月末現在の取組高を表している。

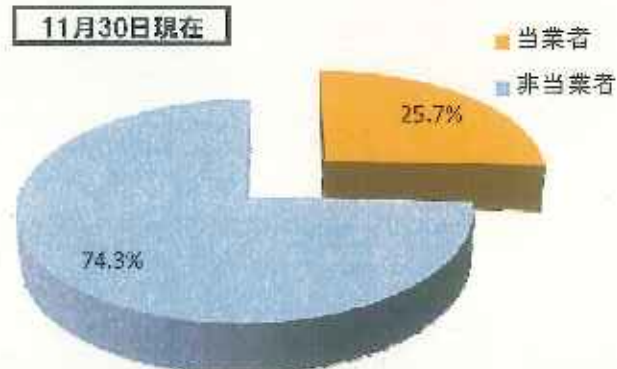
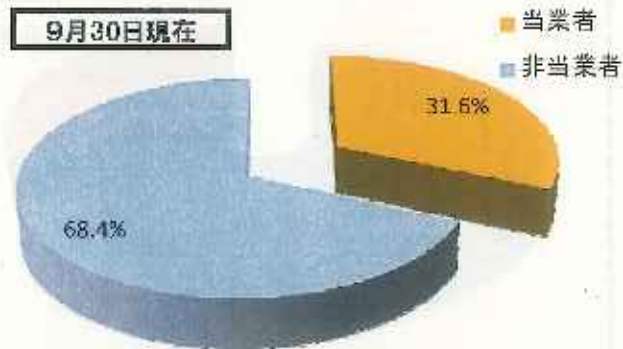
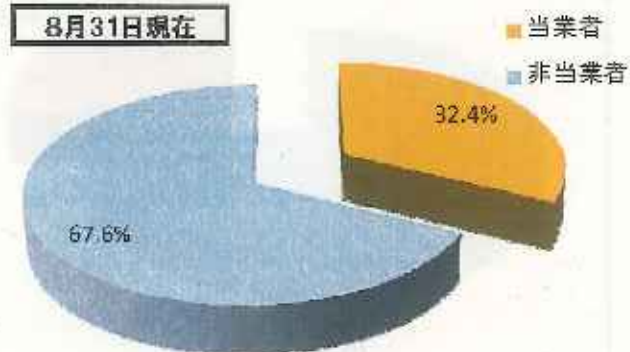
⑤ 取引参加者の構成(当業者・非当業者)

当業者(定義):米の売買、売買の媒介、取次ぎ若しくは代理、生産、加工又は使用を業として行っている者(生産者、卸・小売業者、米加工品製造業者、外食事業者等)。

ア 東京穀物商品取引所



イ 関西商品取引所



注: 各月末現在における総建玉数に対する当業者及び非当業者の割合を表している。

(参考) 他の上場商品の取引参加者の構成

とうもろこし(東穀)



一般大豆(東穀)



小豆(東穀)



注:平成23年11月30日現在における総建玉数に対する当業者及び非当業者の割合を表している。

⑥ 建玉報告対象者の割合

建玉報告対象者：米穀の先物市場においては、21枚以上(東穀126玄米トン、関西63玄米トン)の建玉を有する者。

ア 東京穀物商品取引所(平成23年11月30日現在)

(単位:枚)

	売		買	
	枚数	割合	枚数	割合
全取引参加者の総建玉数	3,977	100.0%	3,977	100.0%
うち建玉報告対象者の建玉数	3,151	79.2%	3,067	77.1%

イ 関西商品取引所(平成23年11月30日現在)

(単位:枚)

	売		買	
	枚数	割合	枚数	割合
全取引参加者の総建玉数	3,142	100.0%	3,142	100.0%
うち建玉報告対象者の建玉数	2,953	94.0%	2,752	87.6%

(参考) 他の上場商品の建玉報告対象者の割合(東京穀物商品取引所)(平成23年11月30日現在)

(単位:枚)

		売		買	
		枚数	割合	枚数	割合
とうもろこし	全取引参加者の総建玉数	25,486	100.0%	25,486	100.0%
	うち建玉報告対象者の建玉数	21,608	84.8%	16,784	65.9%
一般大豆	全取引参加者の総建玉数	26,983	100.0%	26,983	100.0%
	うち建玉報告対象者の建玉数	22,675	84.0%	16,979	62.9%

注：商品先物取引法第112条第2号に基づき、商品取引所は、それぞれの商品先物市場において一定の建玉(両取引所とも米穀については21枚以上、東穀のとうもろこし及び一般大豆については51枚以上)を有する者の建玉の状況等を、毎日、主務大臣に報告することとされている。

(参考)

建玉制限：取引所において、以下のとおり一者当たりの取引数量（建玉数）を制限。

【東京穀物商品取引所】

1 番限	300枚	(7 月限、8 月限及び9 月限の場合100枚)
2 番限	500枚	
3 番限	1,000枚	
4 番限以降	2,000枚	

【関西商品取引所】

1 番限	100枚
2 番限	350枚
3 番限	500枚
4 番限	1,500枚
5 番限以降	2,000枚

※ 上記は一般投資家の売り又は買いのそれぞれの建玉上限。当業者、商品先物取引業者等については制限を緩和。

※ 1 番限とは、最も早く決済期限が到来するものであり、1 番限から決済期限がより先のものに向かって2 番限、3 番限と数える。平成23年11月30日現在、米穀の場合は、1 番限が12月限、2 番限が1 月限、3 番限が2 月限、4 番限が3 月限、5 番限が4 月限。

(4) 現物受渡しの状況

平成23年11月10日に関西商品取引所の米穀の11月限が納会日を迎え、14枚(42玄米トン)の現物受渡しが決定。同月17日に受渡しが実施された。

また、11月18日に東京穀物商品取引所の米穀の11月限が納会日を迎え、16枚(96玄米トン)の現物受渡しが決定。同月28日に受渡しが実施された。なお、東京穀物商品取引所では、このほかに早受渡し※として2枚(12玄米トン)の受渡しが実施された。

※ 早受渡しとは、納会日前に、受方又は渡方が取引所に申出を行い、それに対して渡方又は受方から応諾があった場合に、納会日前に受渡しを成立させる制度である。

① 現物受渡数量

ア 東京穀物商品取引所

平成23年11月限 18枚(108玄米トン)(うち早受渡し2枚(12玄米トン))

イ 関西商品取引所

平成23年11月限 14枚(42玄米トン)

② 現物受渡しされた米穀の産地銘柄

ア 東京穀物商品取引所

銘柄	受渡枚数(玄米トン)	備考
コシヒカリ(茨城県産)	2枚(12玄米トン)	早受渡し(11月4日成立)
コシヒカリ(福島県会津産)	10枚(60玄米トン)	
コシヒカリ(茨城県産)	6枚(36玄米トン)	
合計	18枚(108玄米トン)	

イ 関西商品取引所

銘柄	受渡枚数(玄米トン)	備考
コシヒカリ(埼玉県産)	10枚(30玄米トン)	
コシヒカリ(福島県会津産)	4枚(12玄米トン)	
合計	14枚(42玄米トン)	

(参考)

受渡供用：受渡しに当たっては、渡方は、以下の銘柄について、あらかじめ設定された価格調整表に基づき増額又は減額した価格で受渡しが可能(平成23年11月30日現在)。

東京穀物商品取引所：

コシヒカリ(福島(会津・中通り・浜通り)、新潟、富山、石川、福井、長野、茨城、栃木、千葉)

ひとめぼれ(岩手、宮城)

あきたこまち(秋田)

はえぬき(山形)

きらら397・ななつぼし(北海道)

つがるロマン・まっしぐら(青森)

関西商品取引所：コシヒカリ(全国)



写真：現物受渡しが行われた東京穀物商品取引所の指定倉庫。